

世界史〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	①	2
	②	1
	③	6
	④	2
	⑤	3
	⑥	3
	⑦	2
	⑧	1
II	⑨	3
	⑩	3
	⑪	4
	⑫	3
	⑬	3
	⑭	1
	⑮	4
	⑯	3
III	⑰	3
	⑱	2
	⑲	2
	⑳	3
	㉑	1
	㉒	3
	㉓	4
	㉔	4
IV	㉕	4
	㉖	2
	㉗	3
	㉘	2
	㉙	3
	㉚	1
	㉛	4
	㉜	3

世界史〔前期A方式(1/30)〕

設問		解答例
I	①	1
	②	4
	③	5
	④	6
	⑤	3
	⑥	2
	⑦	4
	⑧	4
II	⑨	1
	⑩	2
	⑪	4
	⑫	3
	⑬	2
	⑭	3
	⑮	4
	⑯	1
III	⑰	2
	⑱	4
	⑲	2
	⑳	1
	㉑	3
	㉒	2
	㉓	1
	㉔	2
IV	㉕	3
	㉖	4
	㉗	3
	㉘	2
	㉙	4
	㉚	5
	㉛	3
	㉜	2

世界史〔前期B方式〕

設問		解答例
I	①	2
	②	4
	③	4
	④	3
	⑤	3
	⑥	2
	⑦	1
II	⑧	3
	⑨	4
	⑩	4
	⑪	2
	⑫	1
	⑬	2
	⑭	1
III	⑮	1
	⑯	3
	⑰	4
	⑱	1
	⑲	4
	⑳	2
	㉑	1
IV	㉒	1
	㉓	2
	㉔	1
	㉕	4
	㉖	2
	㉗	4
	㉘	3

III

近世・近代日本の外交を題材にした問題。問1 田沼意次が蝦夷地の調査のために派遣したのは④最上徳内。問2 1792年に根室に來航し、長崎への入港許可証を渡され帰航したのはラクスマン。ラクスマンの持ち帰った入港許可証を持って1804年に長崎に來航したのはレザノフ。問3 (b) Y 異国船打払令が出されたのは1825年。X 渡辺崋山や高野長英らが処罰された(蛮社の獄)のは1838年。Z 天保の薪水給与令が出されたのは1842年。(c) 日本が「安政の五カ国条約」と呼ばれる条約を結んだ相手国は、アメリカ・ロシア・オランダ・イギリス・フランス。(d) 1875年に結ばれた樺太・千島交換条約により、日本は千島全島を領有した。

日本史〔前期B方式〕

I

古代～近世の土地制度を題材にした問題。史料Aは加墾の禁止、史料Bは新補地頭の設置、史料Cは丈量の統一と石盛法について書かれたものである。問1 空欄を含む文は、墾田永年私財法を引用している。墾田永年私財法は三世一身の法にかわり天平十五(743)年に出された。問2 新補率法では、田畑11町ごとに1町が地頭に与えられると定められた。問3 新補地頭には、土地のほかに田地1段につき5升の加微米が与えられた。問4 太閤検地の際に、1間を六尺三寸、1段(反)を三百歩とした。問6 ①は2段目、②は4段目、④は3段目からそれぞれ読み取ることができる。③一地一作人の原則についての記述はない。

II

古代～近世の中国との外交関係を題材にした問題。Aの史料あは『後漢書』東夷伝、史料いはい『漢書』地理志、史料うは『隋書』倭国伝、史料えは『宋書』倭国伝である。問3 い『漢書』は紀元前202～紀元8年まで存在した前漢の歴史を述べたもので、その地理志には倭のことが記されている。あ奴国の王が後漢の光武帝から印綬を受けたのは57年。え倭王武が上表文を送ったのは478年。う「日出づる処の天子」から始まる国書を持った遣隋使が派遣されたのは607年。問4 (b) 遣唐使の派遣停止を命じたのは宇多天皇。(e) 寧波の乱では堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏が争い、これに勝利した大内氏が貿易を独占した。(g) 17世紀の中国との長崎交易でのおもな輸入品は、生糸・絹織物・書籍などであった。②綿織物・④毛織物はオランダからの輸入品。

世界史〔前期A方式 1/29〕

I ベトナムと中国の関係史

問3 11世紀初めに成立した大越(タイベト)国の王朝は李朝。つづく陳朝のときに元軍の侵入を退けた。陳朝のあとに一時期、明の支配下にあったが、15世紀に自立して黎朝が成立した。問4 ベトナムでは黎朝の圧政に苦しみ農民たちの不満を背景に、1771年に西山の乱が起こった。これに対し、1802年に阮福暎が義勇兵やタイ・ラオスなどの援助をうけて西山政権を倒し、阮朝をたてた。問7 劉永福が、フランスによる軍事介入に抵抗して黒旗軍を組織したのは19世紀後半のことである。

II 西欧カトリック世界の歴史

問2 14世紀後半、領主が農民への束縛を強めようとしたことに反対して、イギリスではワット＝タイラーの乱、フランスではジャックリーの乱などの農民一揆が起こった。問4 ウルバヌス2世がクレルモン宗教会議を開いて十字軍を提唱したのは1095年のできごと。インノケンティウス3世がイングランド王ジョンを破門したのは1209年のできごと。ポニファティウス8世がフランス王に捕らわれたアナニー事件は1303年のできごと。

IV

近代日本の産業革命を題材にした問題。問題文は世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」と関連した目新しいものだが、設問の難易度自体は標準的なものである。問1 高杉晋作ら、後の長州藩の尊攘倒幕派となる人物たちが学んだ私塾は③松下村塾。問2 集成館を設立したのは④島津斉彬。問3 ③静岡県にある韭山反射炉は、⑥江川太郎左衛門が築造した。問4 「神道は祭天の古俗」を発表したのは②久米邦武。問5 三菱が長崎で経営したのは③高島炭鉱と長崎造船所。三菱は他に佐渡金山や生野銀山の払下げを受け、事業を発展させた。問6 八幡製鉄所は、②ドイツの技術を導入し、⑦1901年に操業を開始した。

III

正徳の治と享保の改革を題材にした問題。問1 新井白石とともに正徳の治を行った側用人は③間部詮房。②柳沢吉保は5代将軍徳川綱吉の側用人だったが、6代将軍徳川家宣に退けられた。問2 徳川吉宗は、将軍就任前は紀伊藩の藩主だった。問3 (a) 新井白石は将軍職の地位と権威を高めるため、費用を献じて閑院宮家を創設した。(b) 町奉行に取り立てられたのは大岡忠相。田中丘隅は東海道川崎宿の名主で、吉宗に登用されたが、町奉行にはなっていない。(d) 『六論衍義大意』の作成に携わった木下順庵門下の儒学者は②室鳩巢。木下順庵門下の儒学者には、ほかに新井白石・雨森芳洲などがいる。

IV

江戸時代から明治時代の美術を題材にした問題。リード文は会話形式になっている。問1 『富岳三十六景』で知られる浮世絵師は④葛飾北斎。問2 歌川広重の作品として適当なものは②『東海道五十三次』。問3、問4 フェノロサと東京美術学校の設立に尽力した④岡倉天心が創立した美術団体は③日本美術院。問5 『無我』で知られる画家は①横山大観。問6 (a) 黒田清輝の作品として適当なものは②『湖畔』。(b) 帝国美術院の初代院長で、『舞姫』などの作品を発表した小説家は③森鷗外。

問5 ビザンツ帝国では、7世紀以降ギリシア語が公用語とされた。

III 明代の中国

問2 長江中流域にある湖南省や湖北省のあたりは、湖広地方ともよばれ、明代中期に開発が進んであらたな穀倉地帯になると、「湖広熟すれば天下足る」のことわざが生まれた。問5 朱元璋は、租税台帳(賦役黄冊)や土地台帳(魚鳞図冊)を整備したほか、里甲制を実施して全国の村落を組織した。里ごとに人望の厚い年長者を里老人として選び、六論による民衆教化にあたせた。問8 『齊民要術』は6世紀半ばに完成した、中国最古の農書。北魏の賈思勰によって著された。

IV イギリス国王エリザベス2世

問1 チャーチルが参加したヤルタ会談は、米英ソによる首脳会談で、ドイツの戦後処理について話し合われたほか、秘密協定としてソ連の対日参戦が合意された。問5 アイゼンハワーは、第二次世界大戦中はヨーロッパ連合国軍総司令官として、ノルマンディー上陸作戦を指揮した。戦後は、NATO軍最高司令官を経て、アメリカ大統領となった。

問8 第二次世界大戦後の1947年に、アメリカで中央情報局（CIA）が創設された。冷戦期には反アメリカ的な国の情報収集、冷戦

後は国際テロに関する情報収集などを行っている。

世界史〔前期A方式 1/30〕

I 古代地中海世界の指導者

問2 Aの人物は、オクタウィアヌスの政敵で、アクティウムの海戦（前31年）に敗北していることからアントニウス。Bの人物は、第2回ポエニ戦争において、ザマの戦い（前202年）でカルタゴに勝利していることからスキピオ。Cの人物は、ペルシア戦争のサラミスの海戦（前480年）でアケメネス朝の艦隊を打ち破っていることからテミストクレス。よって、C→B→Aの順になる。

問6 陶片追放は、僭主になるおそれがある人物の名を市民たちが書いて投票し、最多得票者を国外に追放する制度。僭主政治が崩壊したあと、アテネの指導者となったクレイステネスによって制定された。

II イスラーム教の歴史

問3 ユダヤ教は、バビロン捕囚から解放されたユダヤ人によって成立した民族宗教。唯一神ヤハウェを信仰し、ユダヤ人だけが救われるとする選民思想や救世主（メシア）の出現を待望する信仰をもつ。ゾロアスター教やマニ教は善悪二元論、ヒンドゥー教は多神教の世界観をもつ。

問4 正統カリフ時代に、アラブ人は大規模な征服活動（ジハード）を開始し、イラクからイランにかけて広がるササン朝を滅ぼし、シリアとエジプトをビザンツ帝国から奪っている。

問6 ワッハーブ派は、イスラーム教の原点回帰をめざす改革派。神秘主義や聖者崇拝なども否定した。

III ヨーロッパの大学の歴史

問3 トマス＝アクィナスはアリストテレス哲学の影響を受けて『神学大全』を著し、スコラ学を大成したことで知られる。

問4 大商人を中心とする商人ギルドに対し、手工業者は職種別の同職ギルド（ツunft）をつくって対抗した。市政を独占する商人ギルドに対する同職ギルドの抵抗運動がツunft闘争である。

問8 ボストン茶会事件は、1773年のイギリス本国による茶法の制定に対しておこされた事件で、アメリカ独立戦争のきっかけとなった出来事。

IV 近代の上海の歴史

問1 マカートニーが謁見した清の皇帝は乾隆帝。しかし乾隆帝は、貿易を恩恵とみる中華の立場をくずさなかったため、交渉は失敗に終わった。

問2 南京条約によって開港された5港は、上海・寧波・福州・厦門・広州。その後、アロー戦争で結ばれた天津条約・北京条約でさらに11港が開港された。

問6 第2次国共合作は、盧溝橋事件によって軍事行動を拡大する日本に対する、国民党と共産党の協力体制。

世界史〔前期B方式〕

I 馬とアジア史

問3 モンゴル高原に勢力をもつ匈奴は、前2世紀初頭に月氏を西方に敗走させた。匈奴に追われた月氏は、さらに烏孫に西方に追われ、バクトリアで大月氏を建国した。

問5 戦国時代の趙では、農具を模してつくられた青銅貨幣の布銭が使用された。

問6 秦の始皇帝は、法家の李斯を丞相としたほか、中国初の統一通貨として半両銭を発行し、中央集権的な地方統治制度として郡県制を施行した。さらに、医薬・占い・農業関係以外の書物を焼く焚書や、多くの学者を殺害し思想統制をはかった。

II 古代ギリシアとローマの疫病

問2 五賢帝の5番目の皇帝はマルクス＝アウレリウス＝アントニヌス。ストア派の哲学者としても知られ、『自省録』を著した。

問3 ペルシアの侵攻に備えてアテネを盟主として結成されたデロス同盟は、結成当初はデロス島に本部が置かれた。マラトンの戦いはデロス同盟の結成より以前におきた戦い。

問4 ペリクレスの時代にアテネ民主政は完成され、市民は貧富にかかわらず平等に参政権をもった。しかし、参政権が与えられたのは、両親ともにアテネの生まれである18歳以上の男性に限られた。

問6 属州のダキアは現在のルーマニアのあたりに位置し、トラヤヌス帝のときに征服され、属州となった。

III 17世紀以降の南アジアの歴史

問2 17世紀から18世紀にかけて、イギリスとフランスは世界貿易の覇権をめぐって、各地で争った。インドをめぐる争いもその一環である。

問4 イギリスがインド支配のため導入した徴税制度のうち、領主層に土地所有権を認めて徴税を委託する制度はザミンダーリー制。これに対し、農民に直接土地所有権を認めて徴収する制度をライヤットワーリー制という。

問7 カルカッタ大会で決議された4綱領は、英貨排斥、スワデーシー（国産品愛用）、スワラージ（自治獲得）、民族教育である。

IV 18世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国の動向

問3 カンザス・ネブラスカ法は、カンザスとネブラスカを準州とすると制定された法律で、自由州となるか奴隷州となるかは住民の投票で決定するとしたため、南部と北部の対立が再燃した。

問4 イタリアによるローマ教皇領の占領は1870年。エチオピアからエリトリアを分離させて領有したのは1884～85年のベルリン会議でのこと。トリポリとキレナイカを獲得したのは1912年のこと。よって、II→III→Iの順になる。